1か 私の現場で広がる小学部福音化運動

Ⅱテモ 2:1〜7　そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。キリスト・イエスのりっぱな兵士として、私と苦しみをともにしてください。兵役についていながら、日常生活のことに掛かり合っている者はだれもありません。それは徴募した者を喜ばせるためです。また、競技をするときも、規定に従って競技をしなければ栄冠を得ることはできません。労苦した農夫こそ、まず第一に収穫の分け前にあずかるべきです。私が言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、理解する力をあなたに必ず与えてくださいます。

1. 小学生Remnantの持つべき姿勢があります

ー直接聖書を開いてテモテが備えていた姿勢を調べて、まわりの人たちとフォーラムしましょう。

1）Ⅱテモ 1:4〜5　　2）Ⅱテモ 2:1〜7
3）Ⅱテモ 3:14〜17　　4）Ⅱテモ 4:1〜5

2. 両親が祈るべき小学部Remnant運動があります

1）福音と＊先天的条件（使 3:1〜12）
ー福音によって生まれつき持っている条件が変わるように祈るべきです
2）福音と＊後天的条件（Ⅱコリ 5:7）
ー福音の中で、学んで知ったことが新しい枠になるように祈るべきです

3. 教師が祈るべき小学部Remnant運動があります

1）小学生の時から三つの祭りを体験すべきです（使 2:1）
2）キリスト、神の国、聖霊の満たしを体験しなければなりません（使 1:1〜8）
3）伝道者の生活62が心に入るように、遊びや娯楽を通して助けることができます

＊先天的条件　生まれながら持っていること
＊後天的条件　学びながら身につけていくこと

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

05 聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

2か

これから経験するようになる
中等部福音化運動

創 37:1〜11　兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心に留めていた。（11）

1. 祈りの実際的な体験のために、必要なフォーラムがあります
   1）私が遭遇した事件をもとに福音フォーラムをしましょう（使 1:1〜8）
   2）重要な現場について伝道フォーラムをしましょう（使 3:1〜12）
   3）霊的いやしについて祈りフォーラムをしましょう（創 37:1〜11）

2. タラントを発見するために、必ず経験しなければならない契約があります
   1）ただです（使 1:1）
   2）唯一性です（使 1:3）
   3）再創造です（使 1:8）

3. 中等部ではどんな伝道者の生活62を整えるのか、友だちとフォーラムをしましょう

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

12

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] <子どもの祈りの手帳>
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

3か

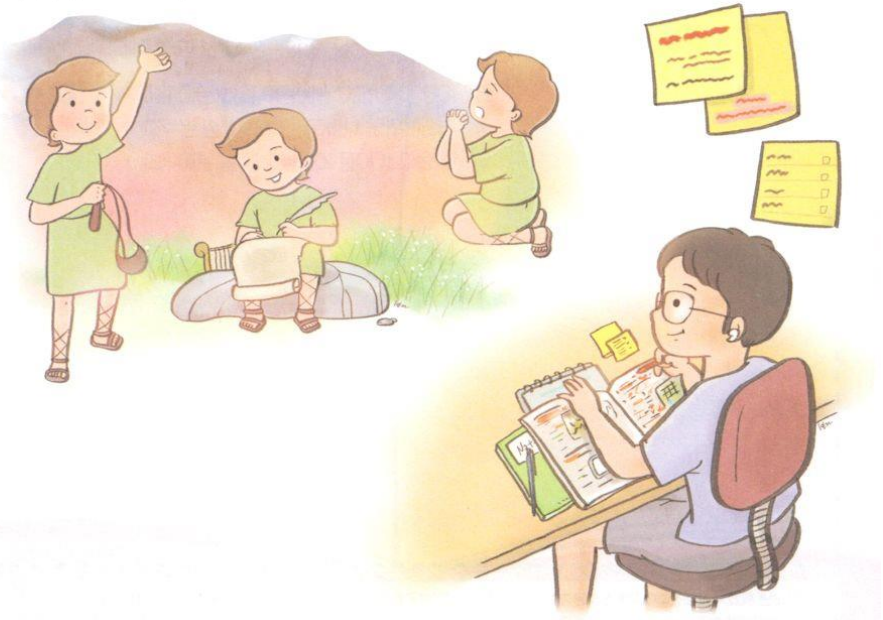
ダビデを通して見る
高等部福音化運動

詩 78:70〜72　主はまた、しもべダビデを選び、羊のおりから彼を召し、乳を飲ませる雌羊の番から彼を連れて来て、御民ヤコブとご自分のものであるイスラエルを牧するようにされた。彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の手で彼らを導いた。

1. ダビデはまず霊的専門化を整えていました
   ー直接聖書を開いてダビデが整えていた専門化を調べてまわりの人といっしょにフォーラムしましょう
   1）詩 78:70〜72　　2）Ⅰサム 16:13　　3）Ⅰサム 16:23

2. ダビデは自分の方法で学業の専門化を整えていました
   1）片手に信仰をもう片手に実力を整えていました（詩 78:70〜72）
   2）賛美によって神様に栄光を帰しました（Ⅰサム 16:23）
   3）羊飼い時代に備えた技能によってゴリヤテに勝ちました（Ⅰサム 17:35〜36）

3. ダビデはゴリヤテとの対決で王になるためのインターンシップ専門化を経験しました
   （Ⅰサム 17:1〜47）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

19

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

4か

パウロを通して見る大学部福音化運動

使 19:8〜10　それから、パウロは会堂に入って、三か月の間大胆に語り、神の国について論じて、彼らを説得しようと努めた。しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前で、この道をののしったので、パウロは彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラノの講堂で論じた。これが二年の間続いたので、アジヤに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた。

1. パウロは世界観を確立しました

1）サタンの国を知っていました（ヨハ 16:12〜16、Ⅱコリ 4:4〜5）
2）神の国を知っていました（使 1:3、使 19:8〜10）
3）永遠の国を味わって告白しました（ピリ 3:20）

2. 世の中に出ていく派遣の準備をしなければなりません

1）成人式を通してタラントを確立しました
2）使命式を通して専門性を確定しました
3）派遣式を通して卒業以降の世の中をあらかじめ経験しました

3. 世界をリードする準備をし終えました

1）伝道者の生活 62 を通してリーダーシップを整えました
2）この世に与える答えを持っていました
3）この世の証人となる準備をしました

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

26

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] <子どもの祈りの手帳>
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば